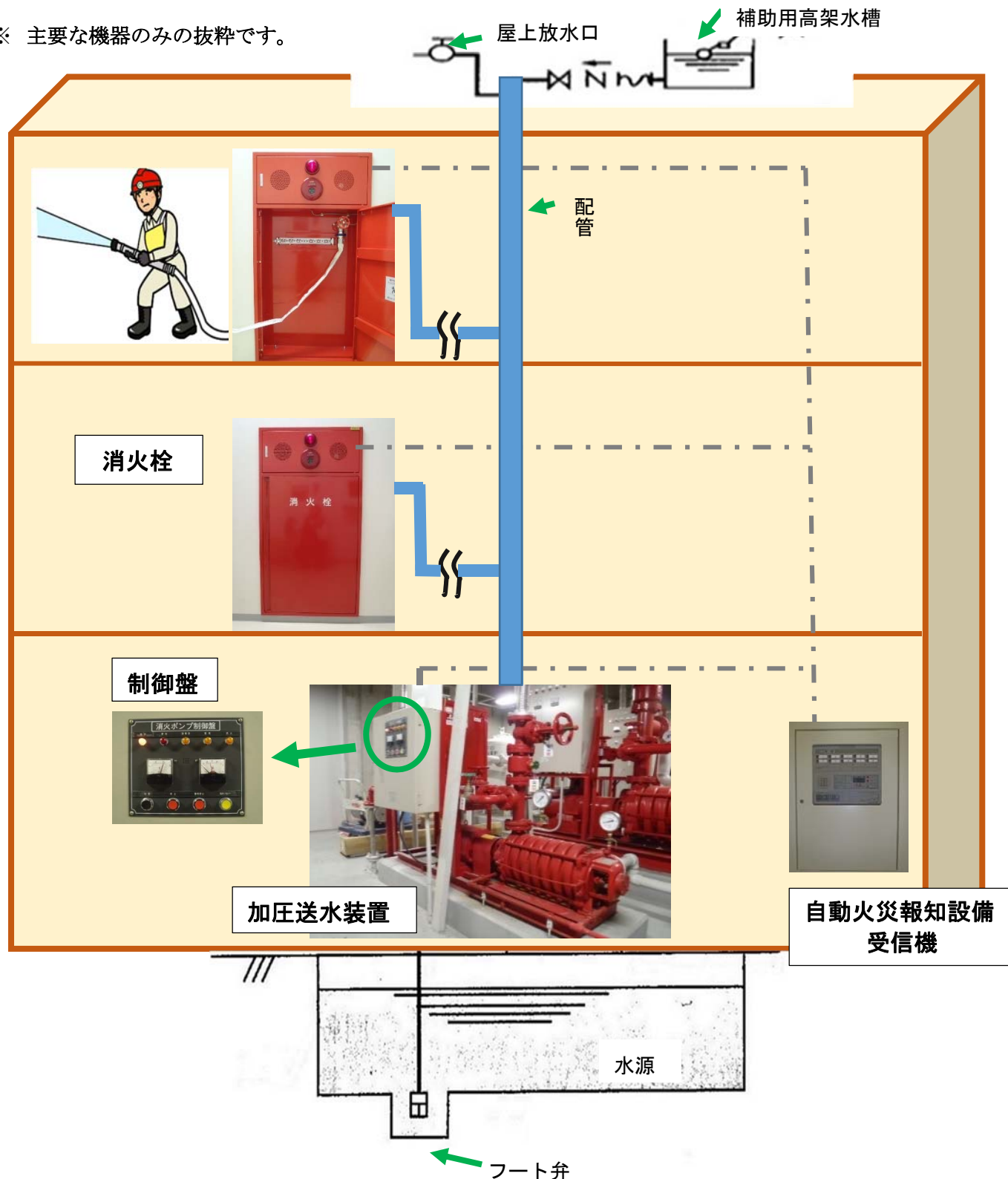


屋内消火栓設備

- ★ 屋内消火栓設備は、人が操作することによって火災を消火する設備です。
- ★ 水源、加圧送水装置（消火ポンプ）、起動装置、消火栓（開閉弁、ホース、ノズル等）、配管等・表示灯及び非常電源等から構成されています。
- ★ 屋内消火栓は、1号消火栓、易操作性1号消火栓、2号消火栓、広範囲型2号消火栓の4種類に区分され、放水圧力、放水量及び操作性等がそれぞれ異なります。

【屋内消火栓設備の構成例（1号消火栓）】

※ 主要な機器のみの抜粋です。

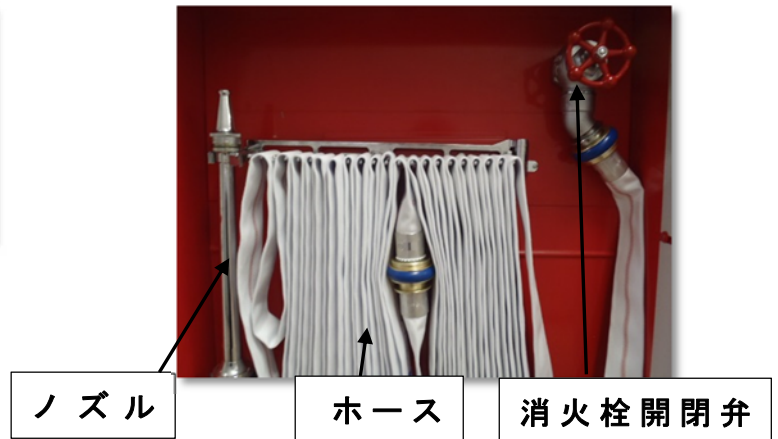


【1号消火栓の構成例】

《消火栓箱上部》



《消火栓箱内部の扉を開放した状況》



【使用方法と停止方法】

使用方法（2人操作）

班員A：起動装置（発信機）を押す
【ポンプが起動して、表示灯が点滅する。】

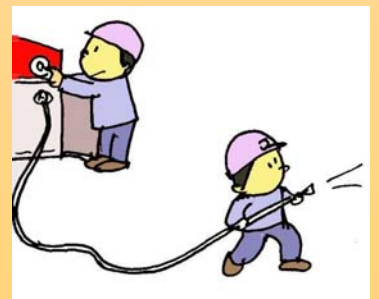


※ 自動火災報知設備の発信機を兼用している場合が多い。その場合は、音響装置が鳴動する。

班員A：扉を開ける。
班員B：ホースを伸ばし、ノズルを持ち、放水態勢をとる。

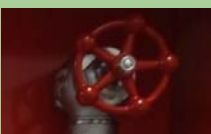


班員Bの「放水始め」の合図で、班員Aは、消火栓開閉弁を開く。その後、班員Aは、班員Bのところへ行き、1～2歩後方でホースを持ち補助する。



停止方法

消火栓開閉弁を閉じ、放水を停止する。



起動装置（発信機の押しボタン）を元の位置に戻す。



※ 起動装置を自動火災報知設備の発信機と兼用している場合は、自動火災報知設備を復旧する。

ポンプ制御盤でポンプを停止させる。



停止ボタン